

# 平成 20 年度農林水産物等輸出促進関東地域協議会 活動報告

## 1. 農林水産物等の輸出に係る情報収集・共有等

協議会会員へ農林水産省が行う輸出促進対策事業の公募、輸出促進セミナー等の情報提供を行った。会員から寄せられた情報をもとに、「輸出可能産品リスト」を作成し、関東農政局ホームページにおいて公表した。

## 2. セミナー等の開催を通じた農林漁業者等に対する啓発、情報提供

### ①輸出促進セミナー

平成 20 年度農林水産物等輸出促進関東地域協議会の年次総会と同日開催で、輸出促進セミナーを開催した（参加者約 130 名）。テーマは「日本食品・農林水産物輸出先としての香港」「海外における地名等の商標出願・登録に関する論点について」「中国の米市場と日本産精米輸出の現状と課題」等であった。

また、輸出オリエンテーションの会と同日開催で、輸出促進セミナーを開催した（参加者約 120 名）。メインテーマとして「アジア・ロシアにおける農林水産物・食品輸出の可能性」の基調講演が行われた後、パネルディスカッション等が行われた。

当日は多数の質疑応答が行われるなど、輸出取組意欲の醸成が図られた。

### ②輸出オリエンテーションの会開催

国内外のバイヤー等との商懇談の場を提供する「輸出オリエンテーションの会」を 10 月 16 日に東京都品川区において開催した。農林水産物・食品の輸出に意欲のある 31 事業者が参加し、21 名のバイヤー等と試食を通じた商懇談を実施した。

## 3. 農林水産物等輸出に関する課題の検討や関連事業等との連携

会員から寄せられた輸出に関する相談等について、日本貿易振興機構や国の機関など会員の協力を得て対応を行い、早期の課題解決に努めるとともに、会員等が開催する輸出関連事業（シンポジウム、商談会、展示会等）の情報を各会員に随時提供した。